

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p data-bbox="199 302 406 336">進行：横山会長</p> <p data-bbox="199 593 430 627">那須総合計画主幹</p>	<p data-bbox="486 302 1396 548"> 第2回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。 お盆のお忙しい中、また10月末の策定に向けて時間がないところですが、皆さまのご意見をいただき、なんとかまとめていきたいと思ひます。 よろしくお祈ひします。 早速次第に入りますが、2番から4番まで、関連する部分でありますので、 事務局から説明をお祈ひします。 </p> <p data-bbox="486 593 1396 952"> 前回7月13日の会議においては、地方創生に係る概要や美幌町の将来の人口値についてお話しさせていただきましたが、本日は、交付金に係るご報告と総合戦略に掲載する内容について、意見をいただきたいと思ひます。 地方創生については、年度当初に、国から人口の数などに応じて交付金が配布されているところですが、内閣府から4月3日付けで通知がありまして、上乗せ交付金として全国で300億円が追加されたところですが。 前回の会議では、口頭ででしたが、この上乗せ交付金の関係で、10月末の総合戦略の策定を目指しているところですが、その上乗せ交付の対象となる事業を選定しましたので、その一連の流れをご説明します。 </p> <p data-bbox="486 996 1396 1467"> 資料1をご覧ください。 まず、交付対象となる事業はタイプⅠとタイプⅡに分かれており、タイプ1については1ページ目にあるような事業分野で先駆性のある事業として認められたものについて3～5千万円が交付されるものとなっています。 タイプⅡについては、2ページ目をご覧ください。交付条件が「平成27年10月30日までに、地方版総合戦略を策定する場合」、また3ページの上段(3)には「産・官・学・金・労・言等との連携体制等を備えていること」などとなっており、交付金額は1千万円となっています。 これに申請するために、推進委員の皆さまには、前回会議の時に、交付金の申請のことがありますので、10月末までは行政主導で戦略を作らせていただきたい旨をお話ししていましたが、この4月から町内の若手職員で構成するプロジェクトチームにおいて、事業提案を進めてきました。 </p> <p data-bbox="486 1500 1396 2004"> 総合戦略に掲載する事業候補ということで、資料2-1と2-2をご覧ください。 A4版一枚物のリストと、その後ろに事業概要を記載したA3版の資料を配布しています。 これがプロジェクトチームで考案した事業候補の一覧です。 4回ほどワークショップを開いて意見をまとめてブラッシュアップしたものを、さらに原課の職員に見てもらい、実施の可否を判断したものがこの一覧になります。 実施可否については、国の施策として進めているものや、既存で実施しているものを継続していくといったものもあります。また、施設整備や既存施設の改修が必要とされる事業、3-2や3-8については、5年間でその方向性を決めて実施するのは困難と言うことで、実施不可となっています。 実施可能と判断されたものについては、基本的に10月末に策定の総合 </p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>戦略に掲載する予定となっています。</p> <p>一つ一つの事業について説明は省略させていただきますが、この実施可否の判断の中で、今年度中の実施・完了が可能なものを選定し、上乘せ交付の対象事業としました。</p> <p>タイプⅡの1千万円までの事業については、1-7「元気な起業家応援事業」と4-5「美幌町商店街活性化支援事業」の2つを選定しました。</p> <p>その他の1-5「パッケージデザイン支援事業」や3-6「子育て一時金」も実施可能と回答をいただいていたのですが、パッケージデザイン事業は、一件当たりの事業費が小さく、かなり多く積まないと難しいということで、次年度以降としました。</p> <p>子育て一時金については、試算の段階で1千万円を超えていたことや、次年度以降の方向性を考えて、タイプⅡの対象とはしませんでした。</p> <p>なお、タイプⅠについては、この提案事業の中からは選定していませんが、別のところからタイプⅠの対象事業を選定しています。内容は後ほど説明します。</p> <p>次にその選定した事業の提出日なのですが、資料3-1をご覧ください。</p> <p>先月27日にオホーツク総合振興局から通知がありまして、2の「提出期限」のところですが、タイプⅠについては、8月18日までに北海道に提出、また、タイプⅡについては、8月6日までに提出となっています。</p> <p>さらに、米印でタイプⅡについては、正式提出前に事前相談を行うよう、求められております。</p> <p>次のページの資料3-2をご覧ください。</p> <p>振興局からのメールで、事前相談は本提出と同じ書類を提出すること、そして米印の箇所ですが、「タイプⅡにつきましては、遅くとも今週中14時まで」とあり、つまり7月31日までに事前相談を振興局に提出しなさいということでした。</p> <p>そのため、日付けを見てお分かりのように、現時点でタイプⅡは既に事前相談及び本提出が完了している状況です。</p> <p>また、タイプⅠにつきましても、下の米印にあるように、8月7日14時まで事前相談を行うよう指示されていたので、タイプⅠも既に事前相談を提出した状況となっています。</p> <p>推進委員の皆さまには、事後報告という形になりますが、こうした状況をご了承いただきたいと思えます。</p> <p>資料3-3は、内閣府からの通知で、北海道を経由することや提出方法などが記されています。</p> <p>では、事業内容について説明します。</p> <p>資料4をご覧ください。</p> <p>A3版の実施計画書を添付しています。</p> <p>申請事業数は、2つで、申請額は、上限額いっぱいの1千万円で申請しています。</p> <p>一つ目の「元気な起業家応援事業」は、町内の空き店舗などを活用して起業する人に、必要な経費や家賃を上限200万円まで補助するものです。所管する商工観光グループによりますと、起業・創業に関する相談が来ているようで、年度内の実施・完了が可能だということで、タイプⅡの事業として選定しました。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>次に、「美幌町商店街活性化支援事業」は、町内の飲食店で実施するイベントにより、商店街を活性化させようという事業です。概要については、次のページの企画書をご覧ください。</p> <p>事業名として、「街に出よう！店を知ろう！人と出会おう！」というキャッチフレーズを入れていますが、目的としては、イベントを開催して、気軽に飲食店に足を運んでもらい、町内外の人に美幌の店を知ってもらい、今後も継続的に来てもらえるようにすることです。</p> <p>イベントは3つを予定しています。</p> <p>1つ目は「美ほろ酔いナイト」で、他市町村で「はしご酒」イベントとして実施されているものと類似しています。</p> <p>3,000円のチケットを1,500円で買えるプレミアを売りにして、集客を図ります。これには一部街コンの要素を取り入れるため、北見や網走の大学生を連れてくることを考えています。</p> <p>2つめ、3つめは、町内でランチやカフェを営業している飲食店や、販売専門のお菓子屋さんを対象に、イベント参加店舗で使えるプレミアム付き金券を発行して、1ヶ月間で町内の対象店舗を巡ってもらうイベントです。</p> <p>全体的に、ターゲットは若年層と子育て世代で、いずれのイベントも50%のプレミアを付けます。</p> <p>基礎交付分において、当町は若年層と子育て世代に全道で一番高い55%のプレミアを付けた商品券を発行した経緯もありますので、狙いや方向性として問題ないと考えています。</p> <p>すでに、商工会議所さんには内々にお話をさせていただいている状況で、こちらも年度内での実施・完了が可能であることから、タイプⅡの事業として選定しました。</p> <p>そしてこのタイプⅡにつきましては、先に申しましたが、既に本提出まで済んでいる状況でして、国には申請を受け付けてもらっていますが、これで申請額満額が交付されるかは別の問題で、全国の市町村や都道府県の申請が揃ってから、その状況により、交付額は減らされる可能性があるかと通知されています。</p> <p>結果が分かるのは10月半ばとなります。</p> <p>次に、タイプⅠの申請事業について説明します。</p> <p>タイプⅠの対象事業は、3千万から5千万円のソフト事業で、先駆性タイプか広域連携タイプの2タイプが用意されています。</p> <p>本来は新規事業で提案していきたかったのですが、今年度中の実施・完了や、もし採択されなかった場合の予算上のリスクがありましたので、これは既存事業の中から選定しています。</p> <p>事業選定のポイントですが、資料5をご覧ください。</p> <p>これは、国が先駆性のある事業として、地方公共団体が立案する際の参考例として出されたものです。</p> <p>次のページに参考例を一つ抜粋してあります。</p> <p>この「新規就農・就業者への総合支援」では、想定される取組例として、「地域の中小メーカー、農家と協力し、地域のニーズに応じた新たな販路開拓や高付加価値化などの取組を進め」るなど、すこし飛んで、「地域の農業者、民間企業、農業者団体と連携して収益性向上等を図る仕組みを構築」とか、下の矢印では、2行目から「農地などの情報提供や環境整備を行い、就農のための研修参加、さらには移住・定住に結びつく仕組みを構</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>築」とあります。</p> <p>これらの内容を見て、当町にある「美幌みらい農業センター」が実施している取組が該当するのではないかと思ひまして、関係者と相談してタイプⅠの事業として選定しました。</p> <p>資料6をご覧ください。</p> <p>美幌町農協の城委員はよくご存じかと思ひますが、美幌みらい農業センターでは様々な事業を一括して実施していきまして、国に提出した事業計画書では分かりづらいので、この「美幌みらい農業センターの概要」でざっと説明させていただきます。</p> <p>資料中程の「3事業計画」をご覧ください。</p> <p>(1)「農業経営者育成事業」では、新規就農者への支援や農家子弟・農業経営者への研修など、人材育成事業を実施しています。</p> <p>(2)の「農家青年配偶者対策事業」では、女性に限定した実習生受入や、農家青年の結婚対策などを実施しています。</p> <p>3つめの「農業振興事業」では、新規作物や新品種の地域普及を目指した栽培実証試験を実施しています。この部分においては、松木委員が所属されている「びほろ笑顔プロジェクト」さんとの連携で、アスパラの成分分析の依頼と、その結果に基づく販売戦略の資料作成などを依頼しておりますが、これらも含んでいます。こうした企業や大学との連携による研究開発が主な内容となっています。</p> <p>次のページに実施計画書を添付しています。</p> <p>詳しい説明は省略させていただきますが、今ご説明した、美幌みらい農業センターが実施している3つの事業について、事細かに書き込んでいます。</p> <p>また、国の参考事例を基に、当該農業センターは先駆性がある事業を実施しているということを記載しています。</p> <p>お時間のあるときに読んでいただければと思います。</p> <p>タイプⅠについても、タイプⅡ同様、既に事前相談として提出済みです。採択については、国において外部有識者による評価委員を設定し、その人たちが評価することになっています。</p> <p>現時点において国から修正指示がありまして、やり取りをしている最中です。採択の有無が分かるのは、こちらもタイプⅡ同様、10月半ばになるとのことです。</p> <p>以上で、タイプⅠ・Ⅱの申請事業を説明させていただきましたが、どちらも事後報告という形になってしまい、申し訳ありませんが、どうかご了承をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
横山会長	<p>事務局から説明がありましたが、聞きたいことやご意見ありましたらお願ひします。</p>
村田委員	<p>注文なのですが、今日これだけ多くの資料を渡されて説明されて、何かご意見ありますかと聞かれても、理解が追いつかず、何も出てこない。資料ができあがり次第、事前に送ってもらいたい。</p> <p>また、事後報告の承諾と言われましたが、我々の推進委員会の立場というか役割として、これでいいのかなという疑問がある。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田委員	町のアライバイづくりのような形で実施されているように思うので、推進委員会のあり方を明確にしてもらいたい。
横山会長	私も村田委員と同じ考えです。事務局の説明を聞きながら、そして前回会議の資料を見返しながら思ったのですが、この推進委員会の役割はなんだろうかと疑問に思っている。 事務局から説明をしていただきたい。
那須総合計画主幹	事後報告という形になり、申し訳ありません。 当初示されていた締切が、タイプⅡについては8月14日、タイプⅠについては8月31日までに提出ということで、こちらとしては、推進委員の皆さまにお示ししてから提出する日程を組んでいたのですが、先ほど説明した振興局からの通知で締切が早まりまして、皆さまを招集する時間がないことから、このような形となってしまいました。 大変申し訳なく思っています。 今後、推進委員の皆さまにご意見を伺って、総合戦略を策定することは基本ですので、見直しなどの作業では、事後になることがないように準備をしていく所存です。 また、資料についても、なるべく事前に配布できるような形にしたいと思っています。
横山会長	ありがとうございました。 今回の戦略の話と関係あるのか分かりませんが、7月28日に出た新聞記事を見ますと、平成27年度の普通交付税の額が決定したとありました。そのなかで、美幌町のまち・ひと・しごと創生事業に対応する人口減少等特別対策事業費が、1億4927万円という数字が出ていたのですが、この数字についてご説明いただけるのでしょうか。
那須総合計画主幹	交付税は複雑な算定になりますので、財政需要額などで算定されて、この額に決まったのだと思うのですが、この事業にいくら付くと決まったものではありません。
広島総務部長	なにかの事業に対していくらかと算定されたわけではない。その内訳はまだもらっていない状況。
那須総合計画主幹	中身を分析していないので、詳しくは言えませんが、この1億超が地方交付税として増えたのかというと、そうではなくて、他の費目で削られたりするので、この額が入っているということです。
横山会長	分かりました。 他に何かありませんか。
吉江委員	私も村田委員と同じで、資料が多いので、予習が必要ではないかと感じます。また、行政の計画ですので、言葉が専門的なものが多く、読んでいてもこれはどういった意味だろうと疑問思うものが散見される。 タイプⅠ・Ⅱの説明もいただきましたし、仕事の関係でも聞いてはいましたが、内容について消化できていない。 タイプⅠは3千万から5千万、タイプⅡは1千万円とおはなしがありました。このタイプⅡについては、すでに実施されているはずですが、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	これは既に実施している事業分を載せたという考えでいいのでしょうか。
那須総合計画主幹	タイプⅡの事業対象となるのが、4月3日以降に予算措置されたものが対象となりますので、6月補正で予算計上したものや今後9月に新たに起業家支援で予算計上する予定のものを入れていきます。
吉江委員	この地方創生の元々の意義は、人口の減少を止めるとかなだらかにするなどにあると思うのですが、人づくりということで雇用だとか子育てとかになるのかなと感じています。 ですが、このタイプⅡの商店街活性化事業を見る限りでは、直接関係あるのか疑問です。 根っこではつながっているのだと思いますが、そのイメージがぼやっとしていて掴みにくい。
広島総務部長	この事業をしたら、即出生率が上がって定住人口も増えて雇用も増えるというものを示しできればわかりやすいのですが、遠回しでも、これらの事業を行うことで、最終的にこれが雇用の増加につながるなどの形をとっていかないと、即効果が出るものだけでは、人口減少は対応しきれない。 タイプⅡの商店街活性化事業のはしご酒イベントも、これにより産業の振興を図れるということが一つと、街コン要素を入れるので、婚活にもつながり定住にもつながるものとして、最終的に人口減少の効果につながる。 確かに分かりづらいものですが、最終結論は人口減少対策につながるものとして様々な事業を実施していく。
吉江委員	今、部長からお話しいただいて、遠回し遠回しだけど効果につながるものを実施するんだよというのが分かりましたが、この計画書を見る限りでは、やはり分かりづらいと思う。
広島総務部長	今後もそうした遠回しのような事業が出てくるとは思いますが、委員の皆さまにはご説明できるのですが、対外的には事業名と概要だけでは、これがまち・ひと・しごとのどの成果に表れてくるのかという疑問が多々あると思いますので、事務局において整理します。
吉江委員	誰のための計画なのか、というと、やはり美幌町のためであるので、それが分かりづらかったら何の意味もないと思う。
広島総務部長	最終目標だとかどう理解していただけるのかは、事務局で整理させていただきます。
村田委員	この美ほろ酔いナイトだとかの3つの事業は、とりあえず今年だけの事業ということだが、来年以降について国からの交付金がない場合、形を変えて実施していくものなのか。1回だけで終わってしまったら効果がないと思うのですが。
那須総合計画主幹	この上乘せ交付分については、全額国費となっていて、町の持ち出しがないので実施できるという部分があります。 このあとお話ししますが、来年以降の交付金について半額しか付かないという情報が入っております。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>そこから考えると、町が半分持ち出ししても続けていく事業なのか、他の事業も含めて見直していかなければならないと感じています。</p> <p>先ほど見ていただいた事業一覧は、全額国費という前提で提案された事業ですので、半額交付となりますと、実施できないものも出てくると思いますので、そこも含めて見直していかなければならないと思っています。</p>
村田委員	<p>これは今回だけなのか。</p>
那須総合計画主幹	<p>この追加分というのは今回だけとなります。そのために、10月末までに戦略を策定したら、追加交付しますよというのが、タイプⅠ・Ⅱです。</p>
横山会長	<p>他にありますか。</p> <p>では、次の次第に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>資料7について説明させていただきます。</p> <p>説明というより、皆さまからご意見をいただきたいという箇所ですが、予習をしていただき時間がない中で、非常に申し訳なく思いますが、よろしくをお願いします。</p> <p>資料7をご覧ください。</p> <p>前回の会議でもお配りしていた資料を抜粋したのですが、1枚めくって、「地方版総合戦略におけるPDCAサイクルの基本的な考え方①」のところですが、推進委員の皆さまには、このPDCAサイクルの役割を担っていただきたいことをお話していましたが、ここに、（1）実施方法として、PDCAサイクルを通じて、地方版総合戦略について、客観的な効果検証を実施する、とあります。</p> <p>そして（2）に数値目標・客観的な指標の設定方法として、基本目標においては、実現すべき成果（アウトカム）に係る数値目標を設定する、とありまして、後年度に、基本目標の実施状況を検証する際に必要となってきます。</p> <p>今回、その数値目標の案が決まりましたので、推進委員の皆さまに設定方法や根拠について意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>次の資料の美幌版総合戦略のフレームをご覧ください。</p> <p>資料中程のⅡ基本戦略において、4つの柱を立てていますということを、前回の会議でお示していました。</p> <p>人口ビジョンにおいては2040年に14,500人にしますよと定めたところですが、それに向けて何をしていくのか、ということはこの基本戦略で定めていきます。</p> <p>そこで、大きく4つの柱を立てまして、その基本戦略一つ一つに数値目標というのを設定することになっていまして、今回その案を設定しました。</p> <p>基本戦略の2からご説明します。</p> <p>「びほろらしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」という戦略ですが、20代～40代の転入者数を、年平均20人増やしますよと設定しました。これは27年度から31年度の平均です。</p> <p>もう一つ、20代～40代の転出者数を年平均20人抑制しますよという目標を立てました。</p> <p>設定根拠ですが、資料7-3をご覧ください。</p> <p>なぜこうした指標を設定したかということ、人口ビジョンを立てる際に、その分析において、美幌町は20代～30代の転入出がとても多くて、出</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>る人も入る人も多いのが特徴です。40代になりますと、転出超過、出ていく人の数が多くなっています。そのため、若年とか子育て世代の定住を目的として施策を組むという方向性でありますので、指標を20代～40代としました。</p> <p>年平均20人の転入増加という数値をどのように出したかという、人口ビジョンの将来展望については、5歳～64歳の転出超過を2割減少させるという目標で、最終的に14,500人になるとお話ししましたが、それは25年後の2040年の時点でありますので、総合戦略の目標年は5年後の平成31年度ですので、この時点ではまだ出生率とか施策の効果がまだ出ていないと考えられますので、14,500人になっていく過程のなかで、平成31年度の推計値を基に計算しました。</p> <p>何も施策を打たなかった場合の20代～40代の人口推計値は、5,213人。そして14,500人となる過程の31年度の当世代の推計値は、5,380人で、その差は169人となっています。</p> <p>これは5年間の数値ですので、5で割ると年間34人の転入超過若しくは転出抑制をしていることとなります。</p> <p>転入超過でも転出超過でもどちらでもいいので、その半分を過去の平均値から増加させるという目標値を設定しました。</p> <p>もう一つの転出者数の抑制も同じ考えの基に設定しています。</p> <p>ここで区切らせていただき、皆さまの意見をお聞きしたいと思います。</p>
横山会長	<p>難しい内容となっていますが、何かご意見等ありますか。</p>
吉江委員	<p>この数値の算定に仕方について、統計から見て作られているようですが、5年後に至るまでの背景、20代から40代はなぜ出て行くのか、といった背景を割り出して数値を入れるべきなのではないかなと思います。</p>
広島総務部長	<p>今回の目標値の設定については、統計的な算出にしているのですが、それはそのときの状況が背景にあって影響を受けた数字でありますので、そうした背景を作り出すことは難しいので、先に目標値を設定させていただいて、5年間でその目標値を達成するための背景をどう作っていくか、そのための施策をどう打っていくかを、検討させていただきたい。</p> <p>そして過去の実績を調べた上で施策を考えていくので、今回の目標値の設定の仕方は、先に目標を設定して、それに向けた環境づくり施策づくりを委員の皆さまに考えていただきたいと思います。</p> <p>全ての分野において、このように取り進めていきたいと考えております。</p>
吉江委員	<p>目標値が先にありきということですね。</p>
城委員	<p>この設定数値は、積み上げていくと14,500人になるという理解でいいか。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>そうです。</p>
城委員	<p>総合計画の平成38年度の18,000人という人口目標値ともリンクしているのか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>広島総務部長</p> <p>城委員</p> <p>横山会長</p>	<p>はい。</p> <p>それがずれると全てがずれてきます。</p> <p>それありきの根拠ということですね。</p> <p>他に何かありますか。では続きをどうぞ。</p>
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>信太委員</p>	<p>いまお話ししました 18,000 人から 14,500 人になるというのが基本的な流れですが、次の基本目標 3 にもつながってきます。</p> <p>基本目標 3 「このまちで出会い結婚し、子どもを産み育てたいという希望をかなえる」ですが、ここでは主に子育て環境をどう整えるかという戦略を立てる箇所です。</p> <p>この数値目標ですが、一つ目の合計特殊出生率を 1.64 から 1.70 に上げるというものです。</p> <p>人口目標値を 14,500 人としましたが、その数値に推計するときには使用した出生率は、現状は 1.64、平成 37 年に 1.80、平成 42 年には 2.10 にまで上昇するという推計方法を用いています。</p> <p>単純にそれを年間で割り返して、目標年度の平成 31 年度に符合した数字を、数値目標としました。それが 1.70 です。</p> <p>次の二つ目の数値目標ですが、「婚姻届出数」としてありますが、出生率向上につながる最初の門出が結婚ということと、当町の基幹産業の一つである農業の配偶者対策とか、商業の後継者の未婚問題もあると聞いておりまして、対策として街コンを実施するとか婚活セクションを設置するなどの案がありますので、ここは婚姻届出数を指標としました。</p> <p>数値としては、過去 5 年間の結婚届出数を基に設定しましたが、それが年間平均 85 件となっております。そこに、基本戦略 2 で設定した 20 代～40 代の転入超過若しくは転出抑制を年間 34 人増加させる目標としたことがここでもいきってきてまして、この世代は結婚世代ということもありますので、単純にその方たちが結婚したと仮定して、17 組の結婚が成立して届出が出されると計算しました。85 件に 17 件を加えて、100 件という数値目標としました。</p> <p>皆さまのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>年間 85 件というのは、下がってきているのか、上がってきているのか。</p>
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>吉江委員</p> <p>横山会長</p>	<p>過去 5 年間の実績を見た中では、ほとんど変わっていない状況です。また、婚姻届を全国どこの市町村にも提出できるようになってから、美幌町ではピンクの婚姻届というのを作成し、通常は茶色の婚姻届を記入して出して終わるところを、複写式にして綺麗な木の額縁みたいなものに入れて、無料で贈答しているそうです。それをホームページでアップしてから、それを知った町外の人が、旅行がてら出しに来たそうで、若干届出数が増えたと聞いています。</p> <p>他の行政でも確かにそのようなところがありますね。写真入りとか。</p> <p>どこでも出せるというのは、美幌で結婚した人が北見市に出せるのか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>そうなります。そこで届出されたという情報は、戸籍が美幌町にありますと、こちらに届きます。</p> <p>この数値目標には、その数は入っていません。単純に、美幌町に届出された数です。</p>
城委員	<p>町民同士の婚姻はどのくらい届出があるのか分かりますか。</p> <p>人口減少問題だから、どのくらいの人が町外から町内に入ってきたか分かるのいいのだが。</p>
吉江委員	<p>確かに。通勤についてもそれがわかるといいなと思う。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>人口の分析において、通勤・通学の町内外への人の移動数はとっています。</p>
那須総合計画主幹	<p>前回お配りした人口分析の資料の14ページに記載されています。通勤・通学による流入出状況とあります。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>これを見ますと、872人が町外に多く流出していることが分かります。町外に通っている人が多いということです。通学通勤が含まれています。</p>
城委員	<p>高校生も含まれるということだね。</p>
吉江委員	<p>働く人だけの分析があったらいいなと思う。</p>
広島総務部長	<p>そういったデータがあるのか調べてみます。</p>
横山会長	<p>自衛隊の人でも北見から通っている人も入るので、その動きがみられればいいと思う。</p>
広島総務部長	<p>なんらかの数値は取れると思いますので、調べてみます。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>あと、町外者同士の結婚なのか、結婚によって町外から移り住んだ人がいるのか、これも分かるのか調べてみます。</p>
吉江委員	<p>結婚して自然増も必要だが、一番即効性があるのは、やはり町外から人を持ってくることだから、分かればいいなと思う。</p>
横山会長	<p>では、続いて4番目をお願いします。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>はい、基本目標4として「住み続けたいと思える生活環境を整える」ということで、その指標の一つ目が、「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合を平成31年度に85%にします、というものです。</p> <p>指標については、現在策定中の第6期総合計画のための町民アンケートにおいて、すでにその下地があったことと、国の総合戦略や他市町村のものを参考にして決めました。</p> <p>85%という数値については、過去に実施した町民アンケートにおいて、平成17年度は84.6%、10年経過した昨年（平成26年度）においては、72.4%と約12%低下しています。</p> <p>平成17年度を見ると、20代以下が60%台、30～40代以下が70%</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>森久保総合戦略担当 主査</p> <p>横山会長</p> <p>松木委員</p>	<p>台となっております、50代以上の年代の方たちは90%以上と、年代が上がるにつれて定住思考が上昇しています。</p> <p>しかし、この方たちが10年経過した平成26年度になると、定住思考の低い方たちの年代が上がり、20代以下が59%、30～40代が60%台、50代が70%台と、全体的に定住思考が下がる結果となっております。</p> <p>そして、高い世代になるほど定住思考が強まるということは、子育てや仕事などが落ち着き、生活環境が固まったからだと思います。</p> <p>以上から、産業構造や子育て環境を整えることで、定住思考が低い若年世代からの押し上げを図ることを目標とし、平成17年当時の数値を目標値として設定した。</p> <p>次に二つ目の目標ですが、若年世代（10～30代）の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と思う人の割合を80%にしますというものです。</p> <p>こちらも、第6期総合計画のための町民アンケート及び中高生アンケートにおいて既に下地があったことと、人口ビジョンの分析において、若年世代の中でも特に20代前半の転出が多いことから、若年世代を目的とした施策を組むため、当該指標として設定しました。</p> <p>数値については、平成26年度 10～20代75%、30代75.4%、40代84%で、40代以降では84～90%の割合で「住みよい」と感じており、年代が上がるにつれてその割合が高まる傾向にあります。</p> <p>そして10～30代となると、学生から社会人となり、さらには結婚・出産といった人生のステージが変わるときである。そうした世代の「住みよさ」を上げるため、若年世代の仕事や子育て環境を整えることで、住みよさを感じてもらい、割合を上昇させることとしました。</p> <p>仕事や子育てなどの生活環境が落ち着いた40代の数値を参考にし、現状値と10%の差があることと、現在10～30代の人たちの5年後の目標値ということを考慮して、10%の半分の5%の上昇を加算しました。</p> <p>数字の足し算のような設定方法ですが、何かご意見いただければと思います。</p> <p>何かご意見ございますか。</p> <p>ちょうど当商工会議所に入っているびほろ笑顔プロジェクトにおいて、高校生の生の声を聞いたところでして、その中では、美幌町に住み続けたいという意見が多かったと感じています。その中身について、住み続けたいだけでなく、何か足りないなどの意見がありまして、松木委員にご意見を伺いたいと思います。</p> <p>先ほど、タイプⅡで申請されていたイベントのおやつ巡りなど、これは期間限定のものですが、そこから発展して行けばいいなと思っています。</p> <p>と言いますのも、高校生の声では、町中に休憩できる場所が欲しいというものでした。友達との交流の場が、学校を出た後の場所が欲しいということでした。</p> <p>昔は喫茶店があったのに、段々と無くなってきてしまって、ぼっぽ屋に若干そういったスペースはあるのですが、テーブルが一つしかないの、誰か座ったらもう他の人が座れない。なので、皆と交流できる場が町中にあればというのが高校生の意見です。また、そのような場があれば、雇用にもつながるのかなと思います。</p> <p>高校生自体も、もっとこの場に居たいと思っているからこの発</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
松木委員	<p>言だと思えます。</p> <p>タイプⅡのイベントの事業は、あれだけで終わってしまうのはもったいないと思えますし、商店街の人たちも、そのときだけ協力して終わるのももったいないと思えます。</p> <p>確かに、国からのお金が今後来ないかもしれない状況の中で、自分たちだけでやっていくのは大変かもしれないけれど、これを切っ掛けに、このようなお店があったんだなど、町民の中でもつながっていくものだと思いますので、何かお手伝いできればと思っています。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>今おっしゃっていただいたことが、このイベントの目的で、美幌の店を知ってもらって切っ掛けになればいいなと思っています。</p> <p>また、プロジェクトチームの提案事業をお配りしていますが、この中で発展的に出来るものを、皆さまの意見を伺って、変えていきたいなと思っています。</p>
松木委員	<p>先ほどの設定根拠の説明で、年代が上がるにつれて定住思考が強くなっていましたが、厳しい意見かもしれませんが、年齢が上がると、今更他の土地に行きたくないというのがあると思います。住み慣れたところを離れて、新たな環境に慣れるのは大変なので、全て定住思考があって住み続けたいと思っている訳ではないと思えます。</p> <p>そのため、若い世代の残りたいという想いに対して、何か対策を打っていかないと、厳しいのかなと。そうでないと、このままずるずるとここにおいて住み続けるのでは、ちょっと内容が違うのかなと感じます。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>ありがとうございます。確かに、上の世代の「住み続けたい」という割合の高さに安心してはいけませんね。</p>
横山会長	<p>若い世代のお子さんをお持ちの水島さんはいかがですか。</p>
水島副会長	<p>個人的に感じましたのは、「住みよい」だけでいいのかなと思っています。住みたい・美幌にいたいと思っても、就職先がなければそれは難しいので、例えば自分の子どもが、美幌にいたいと思っても就職先がない場合、では外に、ということになります。でも美幌にいたいかニートになっても居るとするのは、親は困る。なので、「住みよい」だけでいいのかなと感じているところです。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後、もう一つの目標をお願いします。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>今まで説明したことは人の移動とか定住思考とか、人を基準においた目標でしたが、そこで定住とか住み続けるということになりますと、重要になってくるのが、産業構造の部分だと思います。</p> <p>そのため、基本目標1は、そこに重点を置いて作っています。</p> <p>基本目標1の「地域での基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる」ということで、農業、林業、観光業、商業等の産業をここで掲載していく予定です。</p> <p>一つ目の指標が、「農畜産物販売額」ということで、31年度までに99億円にしますというものです。</p> <p>指標は、第6期総合計画の農業に係る成果指標が「農畜産物販売額」で</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>森久保総合戦略担当 主査</p>	<p>ありましたので、上位計画の方向性に沿うことと、「基幹産業を守り育てる」という基本目標に合致していることから、「農畜産物販売額」を指標としました。</p> <p>数値としては、これも総合計画に掲載されている数値を割り返して、平成31年度に合致する数値が、約99億円だったことから、その数値を設定しました。</p> <p>次に、「認証材の出荷額」で2千6百万円としていますが、これも第6期総合計画の「林業」に係る成果指標が「町内における認証材の出荷量」となっており、それを流用して「出荷額」として使用し、上位計画の方向性に沿うことと、「基幹産業を守り育てる」という基本目標に合致していることから、「認証材の出荷額」という指標としました。</p> <p>数値ですが、平成26年度の単価を用いて計算しています。単価は変動が激しいので、出荷量が多くても、単価によっては出荷額に達しない可能性もありますが、今の単価を基本として目標値を2千6百万円と決めました。</p> <p>3つめの「従業者数の増加」として、平成31年には平成26年比から3%増加させるという目標を設定しました。</p> <p>この基本戦略は、産業の育成・強化や起業などによる雇用の場を創出するのが目的であるため、町で働いている人数を指標として設定しました。</p> <p>人口増加ということでは、本当は新規雇用者数で設定したかったのですが、それでは比較とするデータが存在しなかったため、5年ごとに調査が実施されている「経済センサス基礎調査」及び「経済センサス活動調査」で使用されている「従業者数」を指標として設定しました。</p> <p>最新の数値がちょうどこの7月に発表されましたので、その平成26年の7,220人という数値を比較対象としました。</p> <p>目標数値は、ここでも基本目標2の数値を基に、20代～40代の人を増やすということで、働く世代であるということで、年間40人の増加、それが5年間ということで200人増加ということで、比較数値に加算して、そこから3%増加という目標設定を行いました。</p> <p>以上です。</p>
<p>横山会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>水島副会長がおっしゃったように、子どもたちが残りたいという思いがあっても雇用がない、という部分への対策ではありますが、私も商工会議所の人間として、ここは一翼を担っていきたいところです。</p> <p>基幹産業に携わる方として城委員からご意見いただければと思います。</p>
<p>城委員</p>	<p>農業が、というわけではないですが、農商工全てが上手くやればいいなと思っています。基幹産業だからと偏ることなく、皆で盛り上がっていければなど。</p>
<p>広島総務部長</p>	<p>農業でいえば、この目標値をきちっと保っていかないと、美幌町は農業の関連産業が多いですので、農業が傾くと、関連するところ全てが傾くので、人口減少の中で農家戸数も間違いなく減る中で、農畜産物販売額をどう維持していくか、どう対策をとっていくかが、これからの考えどころであります。</p> <p>そのため、多く産業がある中で、農業の販売額を一つあげさせていただきました。</p> <p>もう一つ、林業の目標を立てていますが、今後の林業を考えますと、差</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	別化されるのはこの認証材だろうと考えています。当町はF S Cという国際認証を取得していて、他の市町村は主にS G E Cという日本国内の認証制度を活用しているので、そこを軸に林業を守っていこうという方針ですので、認証材を指標としています。
横山会長	他に何かありますか。
森久保総合戦略担当 主査	<p>本日皆さまからいただいた意見などで、この方向性で進ませてもらいたいと考えています。</p> <p>推進委員の皆さまには、本日は事後報告となってしまったものが多かったのですが、本来であれば、吉江委員からもご指摘いただきましたように、この目標に向かって環境を整えるためにどのような事業を立てるかというところを、皆さまからご提案・検討していただくの本筋でありますので、今後10月以降には、一から皆さまと始めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。</p>
横山会長	はい、では最後の次第ということで今後について、事務局から願ひします。
那須総合計画主幹	<p>では、今後についてと言うことで、まずは次年度の国の動きについて、情報がありましたのでお知らせします。</p> <p>資料8をご覧ください。</p> <p>先日の北海道新聞の記事を抜粋したものです。</p> <p>「新型交付金 事業費で2000億円」とありますが、交付金ベースではその半分の1000億円で、もう半分は地方に負担を求める内容となっています。</p> <p>先ほど皆さまに見ていただいたタイプI・IIの事業は、もし採択されれば、全額交付金となっていますが、次年度からは、市町村も交付額と同額を出してもらうという方向性になったという報道です。</p> <p>今年度が全額国費であったため、次年度以降もその考えで行くものだととして、今までプロジェクトチームで事業を考えてきました。</p> <p>まだはっきりとした通知が来ていけませんので、10月末に策定する総合戦略では、先に言いましたように、プロジェクトチーム提案事業で、実施可能と判断されたものは、基本的に戦略に掲載する予定ですが、負担折半となりますと、財政的に出来ない事業も出てくると思ひます。</p> <p>そのため、次年度の動きに注意しながら、10月末に総合戦略を策定した後、改訂作業に入る予定です。</p> <p>このときには、推進委員の皆さまには一から入っていただき、次年度に向けた事業の提案・検討をしていただきたいと思ひています。</p> <p>最後になりますが、今後の推進委員会の開催日程です。</p> <p>9月中旬に美幌人口ビジョンと美幌版総合戦略のパブリックコメントを実施しますので、9月の上旬に、第3回目の推進委員会を開催する予定です。</p> <p>日程表をお配りしていますので、今記入できる場合は記入していただきたいと思います。後日になる場合は、F A Xかメールで連絡をお願いします。</p> <p>以上です、ありがとうございました。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	全体を通して意見はありませんか。
城委員	戦略を立てるということで我々入っていますが、PDCAサイクルの中で、客観的に検証するというのがありますが、これは別の機関を立ち上げて行うのですか。それともこの推進委員が兼ねているのですか。
森久保総合戦略担当 主査	この推進委員の皆さまにお願いしているところです。
城委員	分かりました。
端委員	前回の資料で、高齢者の転出が多いように感じたのですが、戦略を見ますと、そこに向けた対策というのが見受けられなかったのですが、人口増加に寄与するものではないと思われているのかもしれませんが、例えば高齢者住宅を誘致するとか、高齢者が残るような方向はあまり考えられていないということなのではないでしょうか。
森久保総合戦略担当 主査	総合戦略は網羅的な対策を立てることも出来ますが、若年者から高齢者までの対策も考えたのですが、総合計画でそこはしっかりと対策を立てて町の方向性として計画していますので、総合戦略では若年者を中心に考えたらどうだろうということで、今の事業候補や方向性では若年世代をターゲットとして作られています。
端委員	確かに、こちらに来ると、昼間でも高齢者の方を多く拝見する。総合計画で十分対策を取られているということですね。
那須総合計画主幹	高齢者対策はいらぬというわけではなく、町全体として高齢者対策は当然行っていますが、戦略としては若者に特化した計画としていきたいと考えています。
広島総務部長	このまち・ひと・しごととは、いかに生産人口を増やしていくかといったところにあるので、若者に特化した。一方で昔から走っている総合計画では、高齢者は継続的にきちとした対策を練っているの、棲み分けを行って考えていきたいと思います。
横山会長	ありがとうございます。 本日は、オホーツク総合振興局から、オブザーバーとして斉藤主査にお越しいただいています。何か一言いただけますか。
斉藤主査	タイプⅠ・Ⅱの申請期限につきましては、あまり議論もできないという環境になってしまったということで、申し訳ないと思えます。私どもも、国からの通知を受けたのも急であったという事情もありまして、そこはご理解をいただきたいと思えます。これだけでなく、なるべく速やかな事務を目指して、ご迷惑をおかけしないようにしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。
横山会長	ありがとうございました。 昼からお時間をいただきまして、皆さまお疲れ様でした。ご意見は事務局でまとめて、次に活かしてもらいたいと思えます。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>時間の会議は9月上旬の予定ということで、資料については事前に配布するような対応をお願いしたいところです。</p> <p>では、本日の会議を終了します。</p> <p>皆さまありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">了</p>